

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し法人の理念や目標を事業計画に反映させている。また理念目標を申し送りにて毎日唱和している。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を念頭にしたサービスを心掛け取り組んでいる。また法人の理念を事業所内に張り出し日々確認できるようにしている。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設内の数箇所理念を掲示している。利用案内時にハウスマネージャーよりご家族に説明を行っている。	○  ご家族には大分浸透してきているが、地域にまで法人の理念を理解して頂く取り組みは行っていない。今後の課題と思われる。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の買い物等で出かける機会を作り近所の方と挨拶を交わしたり、回覧版を回したりして触れ合う機会を多く作っている。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園と年数回の交流を設けたり、地区で行われている月1回のサロンには定期的に出かけ交流を深めている。	

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護予防教室を月1回地域で開催し地域住民を対象に認知症の理解や予防等の勉強会を行っている。	○	認知症について理解して頂く為に、各地域に出向き理解して頂ける様努力しているが、まだまだ地域の方に浸透していないと思われる。そのため今後も教室内容等検討し引き続き行う必要があると思われる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を各職員に会議等を活用し伝えている。また外部評価の結果を踏まえ、改善に向けて検討・実践している。	○	職員の入れ替わり等で新人職員への浸透・理解の部分では今後も引き続き行う必要があると思われる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で取り上げられた検討議題・懸案事項等を検討しGH内でのサービス向上につながる様取り組んでいる。また、参加した方から具体的な意見が頂ける様、伝える内容も検討している。		
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日義支所担当職員・木曾町福祉担当、木曾広域連合環境福祉課、木曾町地域包括センター担当職員の方にはその都度確認しているが、それ以外には行き来する機会が少ない。	○	今後も、日義支所担当職員や木曾町福祉担当、木曾広域連合環境福祉課、木曾町地域包括センター担当職員の方と連絡を密にと共に、施設に来て頂ける様、努力していく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度等が必要なケースについては管理者が対応する為、他職員は理解していない。	○	職員が担当する場面が少ない為、知識として勉強をする機会を設けていなかった。今後、必要に応じ勉強会を行っていく。
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	各職員とコミュニケーションを多く取りGH内での虐待を見逃さない様注意・努力を行っている。	○	高齢者虐待防止法を勉強会の議題で取り上げていない為、今後学ぶ機会を設けていく。

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時にケアの方針や退去を含めたGHでの対応可能範囲等の説明を行ってご家族に理解し、同意して頂いている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様が仰られる言葉を『つぶやき』として拾い集め御本人の思いや不安等をケアに活かせるようにしている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1度写真入の利用者様の様子たより・GH便りの発行を行っている。また、金銭管理については月毎利用明細を送り、半年毎にサインを頂いている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には面会時やケアプラン提示・必要時の電話等で連絡を取り何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意して。出された意見要望についてその都度話し合い反映させている。</p>	<p>○</p> <p>年2回ほどご家族が集まる機会を設けているが家族会の発足までにはっていない。家族会を作れるような働き掛けを行っているが、あまり希望の声は少ない。引き続き行っていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員と日頃からコミュニケーションを取り意見を聞く様心掛けている。また月1～2回の会議を設け意見や提案が反映される様にしている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>その方らしい生活が送れる様、職員間で連携を取り、利用者様に合わせたローテーションを組んでいる。また、その都度必要に応じた対応が出来る様、柔軟に職員配置を行っている。</p>	

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的には各ユニットの職員を固定化し顔なじみの職員がケアできるよう心掛けている。また移動や離職でやむを得ない際の引き継ぎ等の面で最善の努力を行っている。</p>		
<p><b>5. 人材の育成と支援</b></p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外で行われる研修等には出来るだけ多くの職員が参加できるようにしている。また、参加した研修報告書を作成し会議で報告し職員間で情報共有出来る様にしている。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>木曾地域に新しくGHが3箇所開所したが、同業者同士の交流機会はない。</p>	○	<p>可能な限り交流の場を作り資質の向上を行う必要がある。</p>
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日頃から各職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。また職員が気分転換出来る様休息室を確保している。</p>	○	<p>ユニット毎に休息室の利用に差がある為、全職員が充分休息し気分転換出来る様工夫を行う。</p>
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員が向上心をも持って働ける様、チャレンジシートや自己評価表を行っている。また資格取得に向けた支援を行っている。</p>		

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	サービス利用開始に当たってはご本人・ご家族と必ず面接を行い、状況の把握を行っている。また利用可能な方についてはデイサービスを利用して頂き、よりご本人の状態・不安等を理解出来るようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があった際はご家族とゆっくり話せる時間を取り、不安の解消や希望等を伺うようにしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時等、ご家族の状況等の把握を行い必要時には各ケアマネジャーと連絡を取り対応している。	○ 比較的ケアマネジャーからの紹介でGHに相談に来られる方が多い為、引き続き各ケアマネジャーとの連携を取り情報交換を行っていく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族に可能な限り施設見学を行って頂きGHの雰囲気を感じて頂いている。また入居後はご本人の状況に応じ出来る限りご家族に面会に来て頂いている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員の意識の中に、常に生活を共に送る仲間という意識を持ち、ご本人が穏やかに生活出来る様意識しているが職員によりバラつきがみられる。	○ ケブラン等のカンファレンスを活用し職員間の意志の統一を図っていく。

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にご本人の様子をきめ細かくお伝えする事で職員との信頼関係が築け、ご本人を支える為の協力体制が出来ている。	○	ご家族によってはご本人との関係が希薄になっているご家族もある為、引き続ききめ細かな情報交換を行っていく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族やご本人の思いを受け止めながら出来るだけご家族と外出・外泊等で一緒に過ごして頂いている。また施設行事への参加や日用品の補充等のお願いで面会の機会を多くしている。	○	ご家族により面会の回数や行事参加、外出の回数が異なる為、ご本人の様子をお伝えしながら月1回以上を目安にご本人の様子を見て頂ける様引き続き働きかけを行っていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から継続して行っている習い事(俳句会等)に入居後も継続して行って頂いている。また、知人等の面会も出来る限り行って頂いている。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士が楽しく過ごして頂ける様、職員がお茶や食事の時間も出来るだけ会話の話題作りを行い利用者様同士の関係が円滑に行く様働きかけている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了された方から特に相談等がない為継続的な関わりは行っていない。	○	今後の課題として出来る限り地域密着型サービスという点から培った関係性を基盤に経過観察等の対応を行っていく。

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様1人ひとりの思いを汲み取れる様日々生活の中で声かけ・会話をしご本人の希望に沿う様努力している。また、意志の疎通の困難な方についてはご家族や職員で情報交換を行いご本人の気持ちを汲み取れるようにしている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や御本人から可能な限り生活歴を聞き取り、個別のプロフィール表を作成しご本人の価値観や人生を理解しようと努力している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様それぞれの生活の様子・リズム・変化の把握を行い、ご本人が出来る事・やりたい事を心理面を含め理解する様努力している。	○利用者様の心理面・身体面から状況の把握を行うよう努力しているが、どうしても身体面に比重が行きがちである。より心理面を掘り下げて把握出来る様にしていく。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様が自分らしく生活できるようご家族やご本人の意見を踏まえ、月1回のカンファレンスを行っている。	○ご家族やご本人からは意見として要望を伺う様心掛けているが、必要な関係者までは意見を確認出来ていない。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に応じて効果の確認や状況把握を行っている。また、見直し前に変化があった際はその都度検討し見直しを行っている。	

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に個人記録を用意し、食事・排泄等記録している。また職員が情報共有できるようにしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の状況に応じ、外出や受診等柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	施設へのボランティアの依頼は行っているが、ご本人の意向を汲んでのボランティアの依頼は行っていない。	○	今後地域の資源をより把握し、ご本人が希望することへのボランティアの依頼が出来るよう意識していく。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	自事業所を中心に活動することが多い為、他事業者との話し合いは行えていない。	○	利用者様の希望等を伺いながら、地域の活動(支所で行っている行事等)に参加できる場面を作り利用者様の選択肢を多く作れるようにする。
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターと必要時は連絡を取る様心掛け、運営推進会議への参加も促している。		



グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後、利用者様の入居期間が長期化することも予測される為、再度終末期・重度になった際の検討や受け入れ体制の検討を行うことも考えていく。</p>

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人が他事業所に移られる際は支援状況の伝達を行うと共にダメージを最小限に出来る様心掛けている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	申し送りやカンファレンスの際、利用者様との接し方や声かけ方に注意を促すと共に、プライバシーの取り扱いに注意する様各職員に徹底している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来るだけ利用者様に意思決定して頂ける様、食事等で場面を多く作る様にしている。	○	職員の入れ替わりがあり、利用者様に自ら選んで頂く機会が職員によって差が出来ていると思われる為、今後さらに意識して行っていく必要がある。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは作っているが特に決まっはてはない。利用者様の様子やペースに合わせて生活出来る様柔軟に対応している。	○	職員によって其々利用者様に合わせるペースに差があり、充分配慮して対応出来ない場合もある。今後さらに一人一人の思いに寄り添うケアが統一して行える様努力していく。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入浴時や朝の更衣の際にご自分で衣類を選んで頂ける様声かけを行ったり、ご自分で出来る方については見守りを行っている。また、理美容についてご本人の希望に合ったお店に行っている。		

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	基本的には出来るだけ毎日入浴して頂ける様支援しているが、ご本人の体調等で期間が空いてしまう事がある。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	身体的にレベルが落ちてきた利用者様に対して、役割や楽しんで頂ける場面が少なく、また職員の入れ替わり等で困難な場面もある。職員の工夫やご家族と相談し楽しんで頂ける場面を出来るだけ作っていく。

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の協力でご自分で数千円のお金を管理し、外出時に使用して頂いている方もいる。また施設で管理していても外出時等で、食事代等ご自分で支払って頂くようにしている。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人一人の希望に沿って近所への買い物やドライブ等で外に出掛け気分転換を図るよう心掛けているが職員により行えない事もある。	○	職員間でのレクに対する意識改革を行える様担当を中心に計画を月1～3回取り入れるようにする
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご本人の希望に沿えるようご家族と相談し、行きたい場所や外食等、個別で計画している。	○	利用者様の身体状況や職員の状況で個人差があると思われる為、どの方の希望も均等に沿えるよう職員で検討していく必要がある。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	日常的に何時でも電話をかけられる様ご家族と相談して対応している。また友人やご家族宛てにはがきや手紙を書いて頂いている。中には居室に電話を引いて頂いている方もみえる。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や知人の方等、いつでも気軽に来て頂けるような雰囲気作りを心掛けている。また、特に面会時間を決めておらず、ご家族の希望に合わせて訪問して頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	申し送りやカンファレンス等で身体拘束を行っていないかケアの確認を行っている。なお、身体拘束は行っていない。		

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>		

グループホームグレイスフル日義・ユニット1


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ケアプラン提示の際や事故報告時等を利用し、今後起こり得る危険等についてその都度説明を行うと共に、その人らしく過ごして頂く為に施設の方針や利用者様の様子をお伝えしご理解頂いている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを行い身体面等変化の早期発見に繋がる様、様子の記録をつけている。また特変があった際は速やかに医療機関に繋げている。		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様個別に服薬管理表を作成し、職員が薬の内容を把握出来るようにしている。また処方箋もカルテに保管している。服薬時は個別に分包された物を職員管理で手渡しにて服薬して頂いている。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事に対する勉強会を開くと共に、便秘に良い食材を食事に取り入れている。また個別に便秘に効果のある飲料等を取り入れ出来るだけ自然排便出来る様心掛けている。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝食後は利用者様の状況に合わせ、モンダミン等の口腔洗浄剤を活用し口腔ケアを行っている。夜間については就寝前に義歯洗浄を行っている。	○	昼食後については口腔ケアの徹底が出来ていない。 今後利用者様の様子を見て実行していく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保出来るよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事量確認が出来るようチェック表を作成し利用者様の様子を職員間で共有し、栄養士及び管理栄養士のアドバイスを受けるようにしている。		

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	事業所内で感染症についてマニュアルを作成し職員が学習し、予防・対策に努めている。またインフルエンザの予防接種についてはご家族に確認を取り利用者様に行って頂いている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具・キッチン周りの衛生・清潔を保てる様職員間で計画・実行している。毎日買い物に出掛け新鮮な物を提供している。	○	冷蔵庫内の点検については買い物の際に行っているが、食材の残り等細かく確認していく必要がある。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に看板を作成し、地域の方に親しみを感じて頂いている。	○	引き続き新しいユニットは今後看板を作成予定である。また季節を感じて頂ける様プランター等を作成し楽しんで頂き、親しみを持って頂く。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感がある食材や郷土の食べ物等、生活の中に取り入れるようにしている。また安心して過ごせる様居場所作りを計画中。	○	季節を取り入れる様意識はしているが、時により季節感や馴染みの物が不足しがちになる為、職員と利用者様で工夫する必要がある。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはソファがあり、寛いで頂くスペースがあり、お一人お一人がさり気なく使われている。		

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご家族と相談し、使い慣れた家具や馴染みのもの を用意して頂き、利用者様に心地よく過 ごせる様になっている。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	湿度・温度調節・換気等利用者様の様子を見なが らその都度調整を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	利用者様の状態に合わせて、手すりや浴室・トイ レ・廊下等住環境が適しているか配慮し見直しを 行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	利用者様が混乱されたり様子が変わった際は、職 員間で情報共有しご本人の不安を取り除ける様に している。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	畑を作ったり、ウッドデッキを活用しお茶を飲ん だり寛いで頂ける様工夫している。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームグレイスフル日義・ユニット1

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様の笑顔を多く引き出すために、音楽を生活の中に取り入れ、週3～4回のペースで、歌を歌う機会を設けている。  
また認知症ケアを充実させるため積極的に勉強会等に参加する機会を設けている